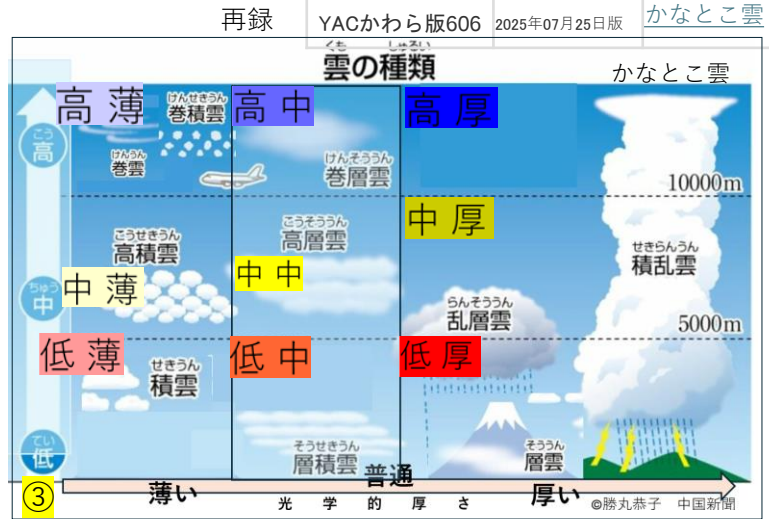
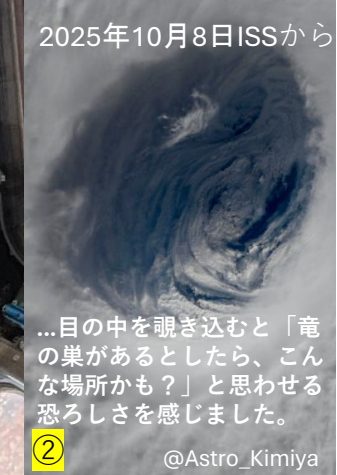
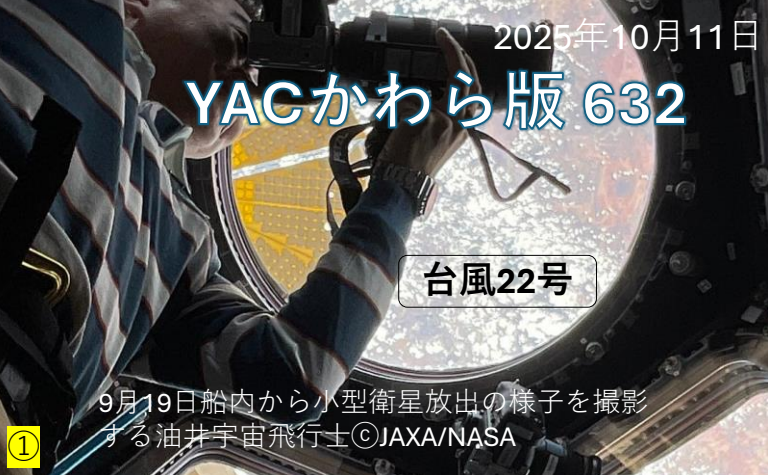
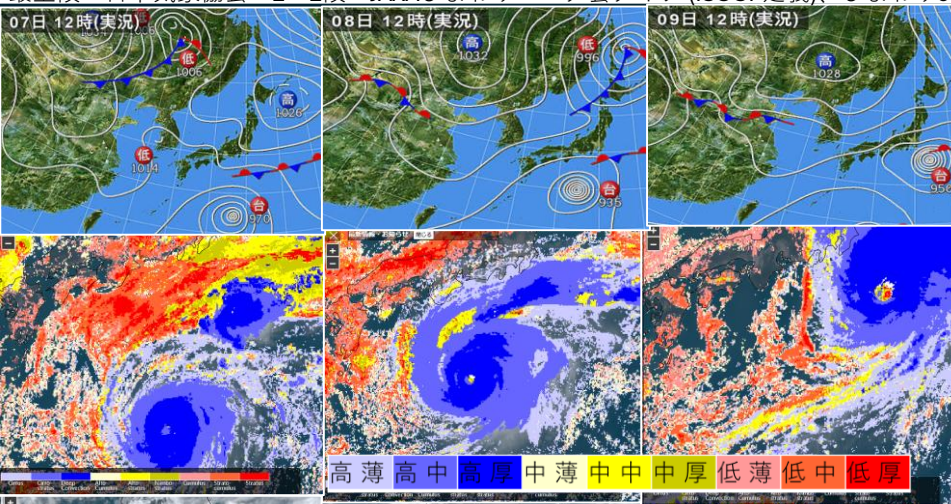




中心気圧935ヘクトパスカル、最大風速が50メートルに達した非常に強い勢力の台風22号は10月8日～9日に、伊豆諸島近海をに東進しました。八丈島では線状降水帯が発生し、「10月9日5時30分 八丈町付近で120ミリ以上」「10月9日7時0分 八丈町

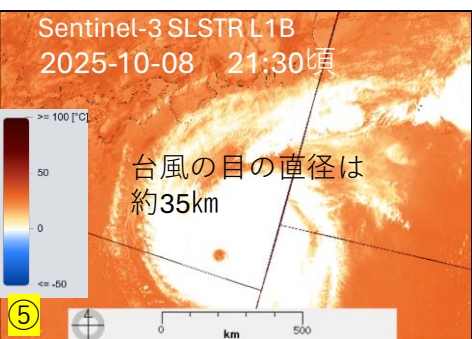
最上段：日本気象協会 2・2段：JAXAひまわりモニタ雲タイプ (ISCCP定義)、ひまわり9



付近で約100ミリ」と気象庁は発表しました。

伊豆諸島を襲った台風22号は、上空の強い偏西風によって日本の東海上に去りました。記録的な大雨と猛烈な風に見舞われた八丈島。断水や停電が続くなか、土石流も発生するなど深刻な被害が出ています。

現在ISSには油井宇宙飛行士が滞在しています。ISSのキューポラから写真を撮影しています。① 先の台風18号と19号のISSからの写真を撮影していますが、10月8日には台風22号の台風の目を撮影しました。台風の目をしっかり覗(のぞ)けます。② 台風の目は、ISS(高度413～421km)よりはるか上空のひまわり9(35,772km)からどのように見えるのか、JAXAひまわりモニターで、台風22号の周辺の雲の種類とともに探りました。10月7日～10月9日12:00の気象協会天気図、雲タイプとひまわり9画像です。台風の目の周辺は高く厚く雲が囲んでいます。④



10月8日温度センサーを持つセンチネル3Aが台風周辺を観測しています。台風の目の下の海面の温度が約25℃という数値を示しているのが興味深いです。

*コペルニクスブラウザからダウンロードしEISEIで処理。